

Take action for your Future

福井県立武生高等学校 SSH 研究推進部 No.20 R4.3.7(月)

b P S 課題研究発表会

令和4年2月9日(水) 5～6限目を使用して、bPS(課題研究基礎)課題研究発表会が実施されました。コロナ禍の中での実施のため、発表者のみ第2化学実験室でスライドを使用して行い聴講者はmeetを接続しオンラインで教室で視聴しました。

最終発表会での発表者は各クラスの代表者1名ずつ選ばれ、合計6名の研究発表となりました。発表時間は各自5分、その後質疑応答2分が与えられました。それぞれとても興味深い内容の発表が行われ、その後も活発な質問タイムとなりました。

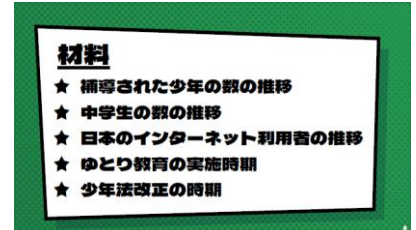
発表者および発表テーマ

発表順	クラス	出席番号	氏名	研究テーマ
1	4組	28	松田 咲来	どの出席番号が一番当たりにくいのか？
2	8組	37	吉田 隆真	日本の教育は世界的に劣っているのだろうか
3	3組	31	松村 美伶	ヤンキーを見なくなったのなんで？
4	6組	15	品川 英貴	2030年のAIの能力によってSDGsは達成できるのか
5	5組	17	高橋 沙希	人間が作り出す海洋ゴミ
6	7組	11	小池 未空	音楽にはリラックス効果があるのか

ベストプレゼンター

今年度のbPS学年発表会はどれもレベルが高く、選考に迷うほど質の高い発表となりました。中でも、特に7組の小池未空さんの発表はアンケートのきめ細やかさと、それを科学的に細かく分析した点が評価され、ベストプレゼンターに選ばれました。

発表者のスライド紹介



@上位国

読解、数学、科学それぞれにおいて

1位:中国 2位:シンガポール 3位:マカオ

読解力	数学	科学的リテラシー	読解	数学	科学的リテラシー
1位:中国	1位:中国	1位:中国	1位:中国	1位:中国	1位:中国
2位:シンガポール	2位:シンガポール	2位:シンガポール	2位:シンガポール	2位:シンガポール	2位:シンガポール
3位:マカオ	3位:マカオ	3位:マカオ	3位:マカオ	3位:マカオ	3位:マカオ

発表会で使用するスライドは課題研究をわかりやすく伝えるために大きな役割を果たしています。今回の発表においても、研究の内容を具体的にわかりやすく伝えることができたか、どのようなデータを使用して、どのような結果へと導いたか、など研究の方向性も示すことが必要です。今年の研究成果を踏まえ、来年はさらに改善を加え、より発展した研究を目指しましょう。